ろう者のツアーコンダクターから手話言語学の研究者へ

国立民族学博物館
日本財団助成手話言語学研究部門
相良　啓子
2018. 12. 12

自己紹介

- 山形出身
- 19歳でおたふく風邪、耳が聞こえなくなる（当時は幼児教育科で保育士を目指していた）
- 筑波技術短期大学に入学（現在は、筑波技術大学）
- 1年間の米国留学(1997. 4 ～
- JTBへ就職　(1999. 4 ～ 2010. 3)
  イントラネット　→　業務課　→　手配　→　営業→
  ツアーコンダクターの仕事へ
- 半年間の世界ろうあ連盟でのボランティア(2007. 4 ～)
- イギリス、プレストンで4年間の研究生活（2010. 4 ～）
- 国立民族学博物館で手話言語学研究を　（2014. 6 ～）

聞こえなくなって、最初にしたこと

- 日記を書いた
- 友達との文通
- 退院して短大に通ってはみたが・・
- 思いを新たに自動車学校へ　（身振りでコミュニケーション）

- 聾学校の先生へお手紙を
- 全国難聴者協会へ情報提供依頼を（当時、山形にはまだ協会がなく、近い福島、東京、なぜか兵庫へ）
- 「聴覚障害学生の全国の集い」を運営していた同県出身者へお手紙を

日記の中の自分

今、日記を読み返すと、今では忘れている苦しかったときのことが蘇ってくる。

ずいぶん、月日が経ったと思い知らされる。

看護師さんに手話サークルを薦められて・・

- 入院していた大学病院の看護師さんに「サークルへ一緒に行ってみないか？」と。
- 「手話を覚えたくない」と拒否。とりあえず病院にだけいてもつまらないので、1回だけ行ってみようという軽い気持ちから・・
- 「聞こえない人のことを知りたい」が「手話」となかなか結びつかない自分

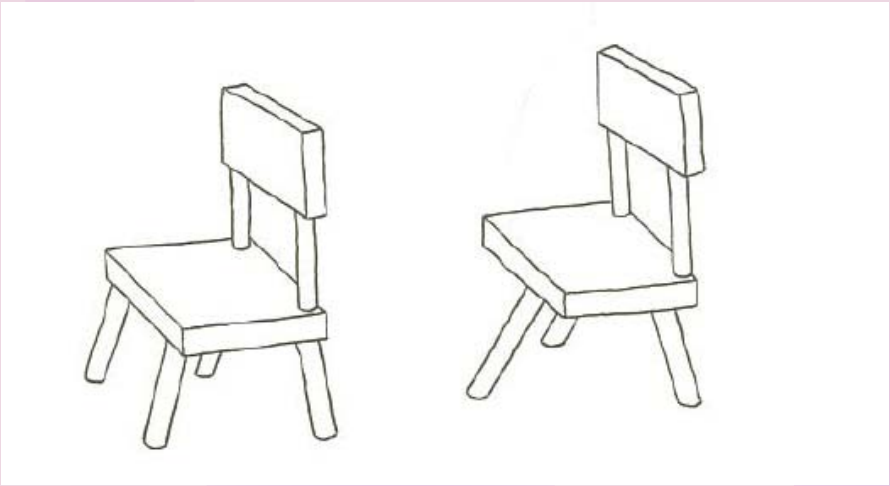
筑波技術大学への入学決意

- 「聞こえない人達はどんな生活を送っているのだろう」
- 「聞こえなくなった自分を見つめ直したい」
- 「手話での会話」悪戦苦闘の毎日
- 手話で少しずつ広がる世界

筑波技術短期大学
（今は大学・大学院も）

ここへ入学したことで人生が変わった

中途障害と先天性の違い



目の見えない人は世界をどう見ているのか
伊藤亜紗 （2015:30）

アイデンティティ？

- 「聴覚障害」「耳の不自由な人」「耳が聞こえない人」「難聴者」「中途失聴者」「ろう者」
- 「自分は何者か？？」 →
  聴覚障害学生の障害認識の研究へ！

＝＝＝

人と接する仕事がしたい

耳が聞こえなくなったことを活かした仕事がしたい → 縁があって旅行会社へ

旅程管理者の資格を取るまで

- 耳が聞こえない社員は、資格はとらなくてもサブならば添乗の仕事はできるから‥
- 英語の試験がある、聞こえないと、この試験を突破するのは、難しいのではないか？
- 手話通訳をつけての研修
- 英語を含めた4科目の試験の試験にチャレンジ
- 実務（海外への単独添乗の経験）を経て

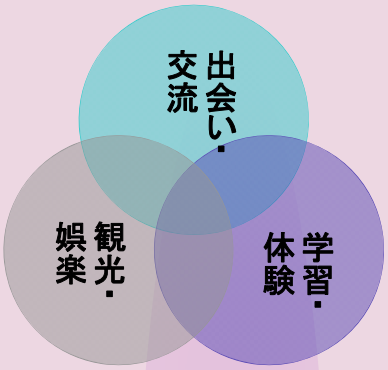
資格取得へ！！

初めての単独添乗

- 初めて一人で、団体のお客様を連れて海外へ飛んだのは、2002年3月。
- 通常の「添乗員」とは異なり、「コミュニケーションサポーター」。ASLと国際手話を活かして添乗同行して欲しいというご希望。
- 手話通訳者と自分の連携体制があり、初めて旅程管理について一通りの仕事が成立したと言える。

企画作成の時に大切にしたこと

- **新しい人との出会いの提供**
- **海外における聴覚障害児教育について学習**
- **レジャーの楽しみ**
- **異文化体験**



ろう・難聴者と旅の楽しみ

- 仲間とゆっくり交流を楽しむ温泉旅行、各地の歴史探索や体験を取り入れた旅行
- 各方面で活躍されている「ろう者」との出会いや交流を取り入れた旅
- 聴者中心の日常生活のなかで、コミュニケーションにストレスを抱え込んでしまうことの多いろう・難聴者にとって、手話を共通のコミュニケーションにもつ仲間と出かける旅行は、何よりのストレス発散になり、心を元気にしてくれる源になっている

旅行中に起こったエピソード・ハプニングもろもろ

- **寝坊、部屋から出てこない**
- **熱を出して、プログラムに参加できなくなる**
- **パスポート紛失事件**
- **具合を悪くしたお客様と、トイレごしでのコミュニケーションが困難**

聴覚障害のある4人の入館拒否 東京のレゴランド

2018.6.22

「レゴランド・ディスカバリー・センター東京」（東京都港区）を訪れた聴覚障害の4人が、聞こえないことを理由に入館を断られていたことがわかった。国は「障害者差別解消法の禁止事項に当たる」とし、施設側に改善を求めた。運営会社は「大きな過ちを犯した。深くおわびする」としている。

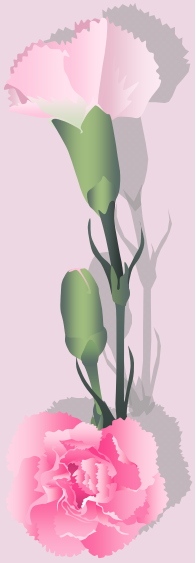
障害者への配慮、実現するには　車いすで搭乗拒否

入館を断られたのは、新潟県に住むろう学校教員でろう児支援団体代表の阿部光佑さん(31)。4月21日の土曜日、家族などで楽しもうと、息子(3)と娘(6)と友人の計4人でレゴランドを訪れた。入り口でスタッフに呼び止められ、「聞こえる方はいらっしゃいますか？　聞こえる人が付き添わないと入館はできません」と筆談で伝えられた。4人とも聴覚障害があるため、理由を聞くと「災害時に避難の呼びかけに応じることができないため」と説明された。子どもたちは「ほかの子は遊べるのに、なんで自分は入れないの？」とショックを受けた様子だったという。

施設を運営する「マーリン・エンターテイメンツ・ジャパン」(港区)などによると、施設のホームページのQ&Aに、障害者だけの入館はできず、健常者の付添人との入館を求めるという内容を記していた。阿部さんはこの出来事を全日本ろうあ連盟（東京都　新宿区）に相談。連盟は国や、施設のある港区に対応を求めた。

障害者差別解消法は、障害を理由にサービスの提供を拒否することや、健常者につけない条件を障害者につけることを禁じ、国は「介助者がいないと施設や店に入れない」ケースを不当な差別として例示している。経済産業省は今月13日、マ社に報告を求め、「法律の趣旨を理解し、運用を徹底してほしい」と改善を求めた。マ社のピーター・リー代表取締役は取材に「今回のスタッフの対応は良識に反したもので、不快な思いをさせ、大変申し訳ない」と述べ、改善する考えを示した。

阿部さんは「親子でレゴランドで遊ぶのを楽しみにしていた。聞こえないだけで入館できないと言われ、つらかった。将来、入館拒否がゼロになってほしい」と願っている。



聴覚障害100人の宿泊を拒否

静岡・熱海市教委が謝罪

2017.7.11

静岡県熱海市立の青少年宿泊施設「姫の沢自然の家」が今年1月、聴覚障害者の団体宿泊の申し込みを「安全が確保できない」として断っていたことが、同県聴覚障害者協会への取材でわかった。市教委は「障害者差別解消法の趣旨を理解していなかった」と同協会に謝罪した。

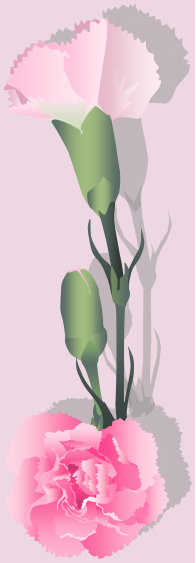
重度難聴の生徒が入学　佐賀の高校の対応は

宿泊を希望したのは全日本ろうあ連盟青年部。7月14、15日に聴覚障害者約100人が宿泊研修の予定だった。1月に手話通訳者を介して施設の空き状況を電話で問い合わせたところ、付き添いの有無などを聞かれ、「聴覚障害者のみ」と告げると、「他の専用の施設を利用してください」と断られたという。

同協会から相談を受けた県は「障害を理由に断ったと受け止められた」として、市に対応を指導。市教委が2月、同協会に「対応した職員が障害者差別解消法を知らず、配慮が足りなかった」と謝罪した。

姫の沢自然の家の所長は取材に、「施設はバリアフリーでなく、職員は手話ができない。災害時などに十分な避難誘導ができないと考えた」と話した。

同協会の小倉健太郎事務局長は手話を通じ、「法律や条例があるから謝るというのは、差別の本質を捉えていない。安全確保で工夫できるところはどこなのか、一緒に考える姿勢がほしかった」と話した。



強制不妊、埋もれさせない　当事者団体が被害調査 「自己決定権、奪われた」

2018年11月30日05時00分

1971年開催「全国ろうあ婦人集会」の報告書から

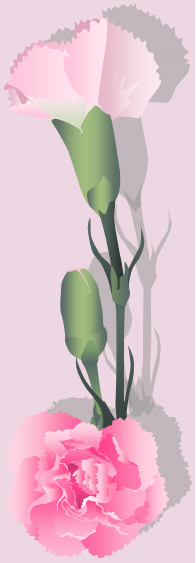
旧優生保護法（1948～96年）の下、障害者が不妊手術を強いられたことについて、当事者団体などが相次いで独自の実態調査に取り組んでいます。「被害を埋もれたままにさせない」との思いが出発点です。

耳が聞こえない人たちの間で、不妊手術のことは何十年も前から知られていた。

たとえば71年の全国ろうあ婦人集会の報告書には、こんな話が載っている。

聴覚障害のある夫妻が子どもを授からないため調べると、不妊手術をされていた。夫妻の知らぬ間に親戚が、妻の盲腸の手術に合わせて実施すると決めていた。その後、夫妻の一方は自殺した――。

だが、「社会に訴えるという発想さえなかった」と全日本ろうあ連盟の石野富志三郎（ふじさぶろう）理事長（66）は話す。「要求や反論をせず、『聞こえる人にかわいがられるろう者になりなさい』と教えられてきた」からだ。また、優生保護法の内容を手話で説明してもらえず、理解していなかった人がほとんどだったとみる。



宝塚歌劇市民貸切公演の当選通知を発送いたしました

本年度の「宝塚歌劇市民貸切公演」では合計4,222件もの
ご応募をいただき、ありがとうございました。

厳正な抽選を行い当選者の方へは10月29日（月曜日）に当選通知の発送を行いました。
なお、落選者の方への通知はございません。

また、当落結果のお問い合わせについてはお答
ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げ

平成30年度宝塚歌劇市民貸切公演 概要

宝塚市に在住・在勤・在学されている方を対象
くのファンを魅了し続ける宝塚歌劇。これまで
観てみませんか？

宝塚大劇場　星組公演

<<主演>>　紅　ゆずる（くれない ゆずる）、

Once upon a time in Takarazuka『霧深き

日本を代表する劇作家 菊田一夫さんの書き下ろ
役を「紅 ゆずる」さん、カールの恋人マルギッ
の河口にあるハンブルクを舞台に、荒くれ水夫
演が行われてから50年以上にわたって多くの人

スーパー・レビュー『ESTRELLAS ～エストレ

2. ローソンチケットでのお申し込み

下記専用ページURLよりお申し込みください。

- ローソンチケットURL　（外部リンク）

※URLは申込期間内のみ有効です。

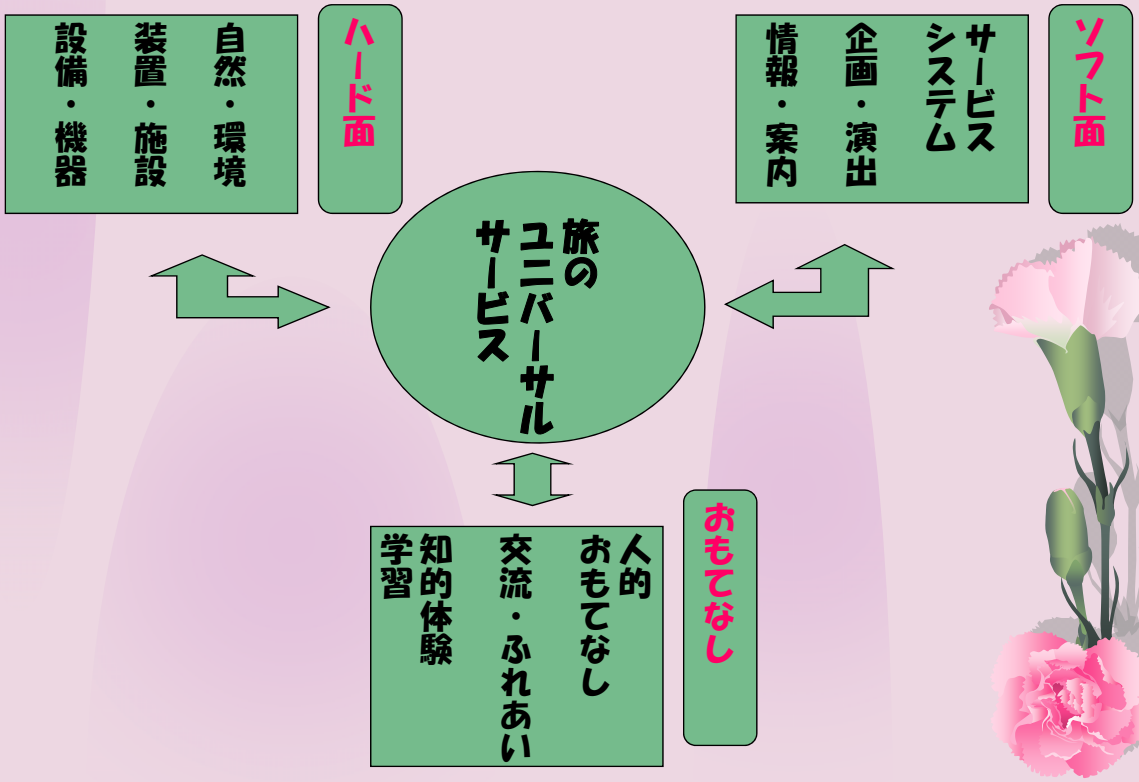
※申込者ご本人が記入・手続きしてください。やむを得ず第三者が代理で記入・手続きする場合は、必ず申込者ご本人の了承を得てください。

【ローソンチケットでのお申し込み方法に関するお問い合わせ】
ローソンチケット　カスタマーセンター　電話 0570-000-407（10:00～20:00）

お申込の前に必ずご確認ください

- 公演前に主催者からの挨拶があります（挨拶のみ手話通訳を用意しております）。
- ご応募は1申込みにつき同一席種4枚までに限らせていただきます（1人1申込みまで）。それ以上のお申込みは無効となります。
- 記入漏れがある場合、お申込みを受付できない場合がございます。
- お子様は3歳以上から座席券が必要です。
- お申込み多数の場合は厳正な抽選のうえ、主催者からの当選通知の郵送を持って当選発表に代えさせていただきます。当選された方へのみお支払いのご案内を10月末日までにお送りいたします。落選の場合のご連絡はいたしません。

旅行におけるユニバーサルサービス



転職

2010年

手話言語学の世界へ

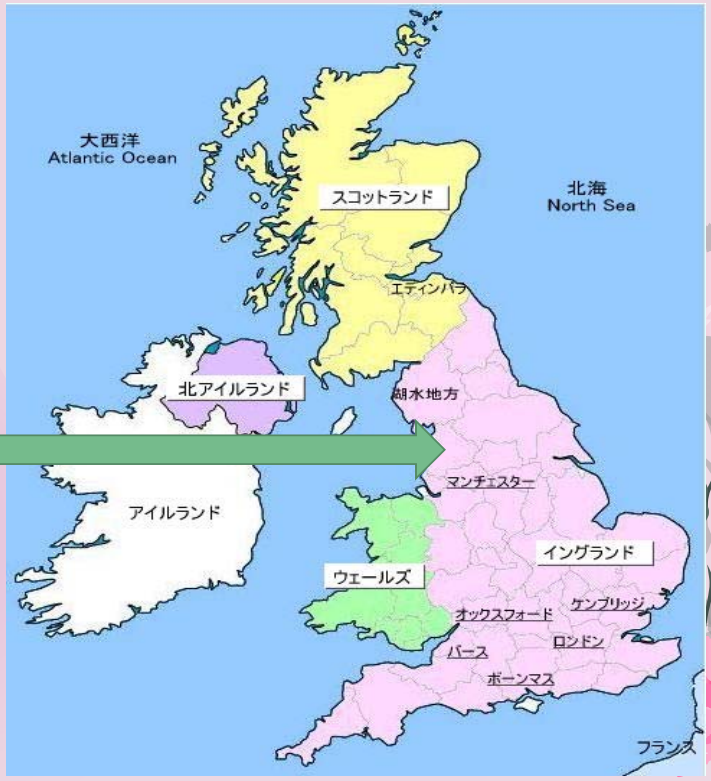
- イギリスのセントラルランカシャー大学へ
  研究アシスタントとして転職
- 「国際手話」を使った仕事へのチャレンジ
- 　自分の研究テーマを設定
- 「日本手話の数詞表現　ー世界の数表現との比較、通言語的観点からー」
- MPhil取得（2014.9）

iSLanDS(手話研究所)

- ドイツ人の所長
- イギリス人ろう者
- アメリカ出身の新しい職員
- オランダ出身の職員
- インド出身の職員
- 日本出身　（各国の手話比較研究）
- ウガンダ出身
- トルコ出身
- イスラエル出身

イギリスという国・私が住んだ街

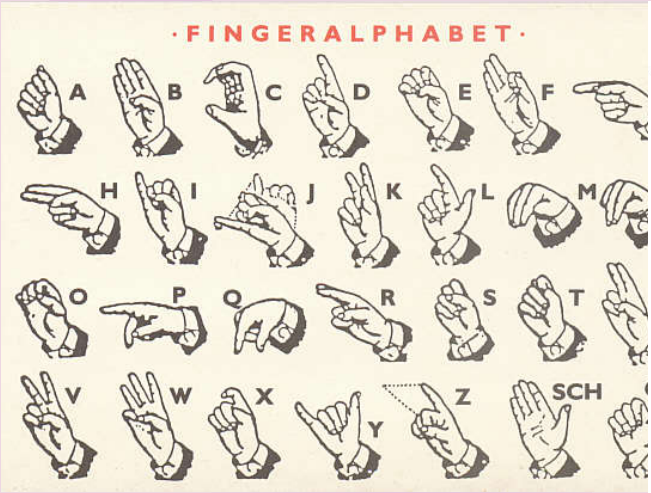
- イングランド
- スコットランド
- ウェールズ
- 北アイルランド



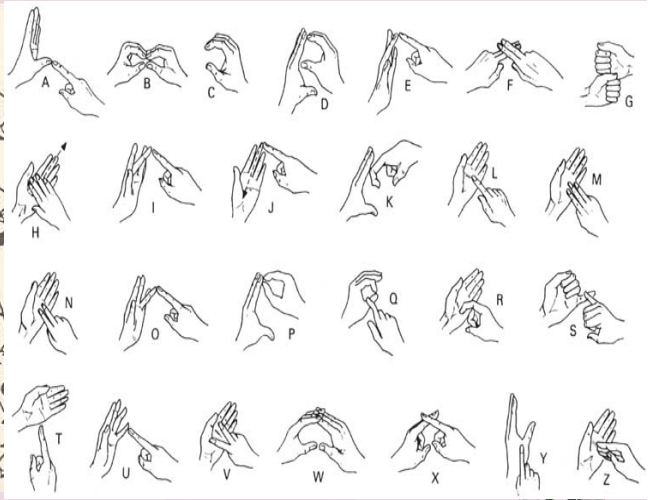
Preston
プレストン
人口:約132,000人

指文字:アメリカとイギリスの違い

米国手話のABC



イギリス手話のABC



面会のためインドへ～SIGN４会議～

- 大学の研究機関関係者との初の面会はインドで
- 手話言語学に関するワークショップに参加
- ２年に一度の国際的な手話言語学や聾教育に関するワークショップ

その後は、トルコのアンカラで
インドのゴア、ブラジル、
今年はワルシャワで。

世界の数詞手話約30を収集（イギリスにて）

（意味領域における手話類型論プロジェクト）

手話通訳事情：日本と欧米の違い

- 欧米には、大学で、手話通訳養成過程がある。
- フィンランドでは1年間で180時間の手話通訳派遣のサービスを受けることができる
- ろう者の手話通訳者もビジネスとして存在している

ろう通訳

- フィンランドにはろう者が経営する手話通訳派遣会社がある
- ろう者の通訳者の登録されている
- 国際手話ー自国の手話
- 盲ろう者に対する通訳

ろう通訳者の活躍

国内での学会等における発表・参加の際の苦労

- 学術手話通訳者が十分養成されていない
- 学会側が、手話通訳についての知識をもっていない
- 手話通訳費を学会で負担してくださる場合もあるが、通訳料が非常に安い
- 「ろう通訳」に対する認識が遅れている
- 日本は、大学で手話通訳を養成していない
  → 欧米との大きな違い

TIRSLR14　は大阪で！　2022.9

- 国際言語学学会は、アメリカ、ヨーロッパを中心として行われてきた
- TISLR12　メルボルン大会で、日本（大阪）、アメリカ（テキサス）、南アフリカ（ヨハネスブルク）の3地域で投票の結果、大阪に決定
- 手話言語学研究と手話通訳養成の2つの大きな柱を掲げて

現在は・・

- 国立民族学博物館の中に、日本財団助成手話言語学研究部門が設立

  (2016.4～2021.3)
- 手話言語学研究　:「日本手話・台湾手話・韓国手話の語彙の変化」をテーマとして研究中
- 展示の中に手話を含める（方言・外国の手話など）
- 学術手話通訳養成

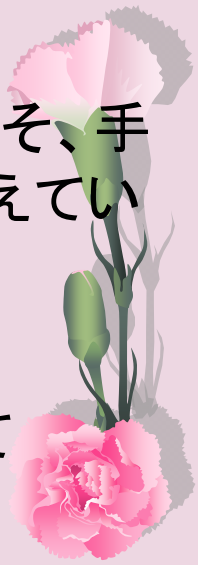
まとめ

「耳が聞こえなくなった人と友達になりたいと思う人がいるだろうか」

社会から切り離されてしまうのではないか

↓

「聞こえなくなって手話の世界を知ったからこそ、手話を通して世界の文化やことばを知り、聞こえていた時以上にぐ～んと世界が広くなった」

↓

中途失聴 → 異文化・新しい言語を通して世界への扉が開いた